

学校法人 三島学園 要覧

(令和7年8月現在)

生活文化の向上に寄与する地域に開かれた学園

■東北生活文化大学

- 家政学部 家政学科
- 服飾文化専攻
- 健康栄養学専攻
- 美術学部 美術表現学科

■東北生活文化大学短期大学部

- 生活文化学科
- 食物栄養学専攻
- 子ども生活専攻

■東北生活文化大学高等学校

- 普通科（全日制課程）
- 未来創造コース
- 保育コース
- 進学コース
- 看護医療コース
- 商業科（全日制課程）
- 情報ビジネスコース
- 進学ライセンスコース
- 美術・デザイン科（全日制課程）
- 普通科（通信制課程）

■ますみ幼稚園

東北生活文化大学短期大学部附属

■ますみ保育園

東北生活文化大学短期大学部附属

目 次

▶建学の精神、校訓	1
▶三島学園理事長挨拶	2
▶三島学園の概要 建学の精神 斎藤實子爵と三島学園	3
▶三島学園の沿革	4
▶三島学園管理運営組織図	6
▶三島学園役員・主な役職者	7
▶令和6年度法人収支状況	8
▶歴代の理事長 キャンパス全体図・面積	9
▶三島学園の変遷	10
▶大学・短期大学部・高等学校・幼稚園・保育園の概略	19
▶アクセス	20

建学の精神

高い知識と技術ぎりようを修め、

常に文化創造に寄与する、

清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す

校訓

励はげみ、謹つつしみ、慈いつくしみ



三島学園理事長挨拶

「学校法人三島学園要覧（令和7年8月現在）」をお届けします。

本学園は、令和7(2025)年に創立125周年を迎えました。明治33(1900)年10月6日に三嶋駒治先生が東北法律学校の設置認可を受け、仙台市東三番町に開校したのが学園の始まりです。夜間で、修業年限は本科が三ヵ年、別科が一ヵ年でのスタートでした。3年後の明治36(1906)年10月10日には、三嶋駒治・よし夫妻が東北女子職業学校の設置認可をうけ、同じく東三番町の敷地内で開校しました。

その後、現在地への移転、校名変更、男女共学化等色々な変遷を経て、現在では、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、東北生活文化大学短期大学部附属すみ幼稚園及び東北生活文化大学短期大学部附属すみ保育園を有する総合学園として発展してきました。

昨今では、グローバル化、少子高齢化の進展、新興国の台頭などによる競争激化、情報通信技術の目覚ましい発展等の社会経済状況の変化により大規模な教育改革が推進されております。日本では、「人生100年時代」に、すべての国民が元気に活躍し続けられる社会を実現しようと「人づくり革命」に乗り出しています。

人づくり革命では、幼児教育の無償化、待機児童の解消、高等教育の無償化、私立高校の授業料実質無料化、保育士・介護人材の処遇改善、大学改革、リカレント教育、高齢者雇用促進等主に教育を中心とした政策が実施されております。

本学園では、これらの社会の要請に応えるため、それぞれの教育機関の充実を図っていくこととしております。令和4年3月には、隣接する東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入しており、主に大学美術学部及び高校通信制課程が使用することとして教育環境の整備を進めています。さらに、併せてその間にある緑地帯を購入して遊歩道を設置し、虹の丘キャンパスと双葉ヶ丘キャンパスを一体化して魅力あるキャンパスを目指しています。また、高校では、柔軟な学習スタイルや個々のニーズに合わせた教育を提供することが可能な通信制課程を令和7年4月1日に開設しております。

この度、私立学校法が改正され、我が国の公教育を支える私立学校が、社会の信頼を得て、一層発展していくため、社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革を推進することとされ、幅広い関係者の意見の反映、逸脱した業務執行の防止を図るため、理事、監事、評議員及び会計監査人の資格、選任及び解任の手続等並びに理事会及び評議員会の職務及び運営等の学校法人の管理運営制度に関する規定や、理事等の特別背任罪等の罰則について定められました。学園としては、体制を整備して取り組んでいるところです。

本要覧が、学園内の教職員はもちろんのこと、学園外の皆様方にとって何がしかの参考になれば幸いです。さらには、本学園の教職員の活性化につなげるためにも、本要覧をご覧になられた皆様方からのご批判やご意見を賜ればと願っております。



学校法人三島学園理事長
大庭清

虹の丘キャンパスより双葉ヶ丘キャンパスへの遊歩道



双葉ヶ丘キャンパス（大学7号館）



三島学園の概要

三島学園は、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、短期大学部附属ますみ幼稚園、短期大学部附属ますみ保育園の五つの教育及び保育機関を擁する総合学園であります。明治 33（1900）年三島駒治・よし夫妻による東北法律学校、3 年後の東北女子職業学校開校を礎に、時代の要請と地域の期待に応えて改革を重ね、現在の学園へと発展してきました。

初めは当時の仙台市東三番丁、次いで仙台市の中心部に近い清水小路に誕生しましたが、規模拡大に伴って、大学、短大、高校は約 40 年前に風光明媚な泉区虹の丘に移転し、太白区向山にある幼稚園及び保育園と共に二つのキャンパスを形成しており、その後、令和 4 年 3 月に隣接地に所在した東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入して双葉ヶ丘キャンパスと、三つのキャンパスを有しております。

激動の 20 世紀を歩みつつ、創立 125 年の歴史を誇り、実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、生活に密着した人材の育成を使命として多くの有為な人材を世に送り出して参りました。

21 世紀に入り、社会が高度化・多様化・グローバル化へと歩み続ける中、知識基盤社会への構築を目処に、教育に課せられた問題は多岐にわたり、教育機関としての責務はますます大きくなっております。そのことを自覚しつつ、学園全体の教育内容の改善・充実に努めながら、大学・短大部門では「家政、服飾、健康栄養、美術、食物栄養、保育等の専門分野の教育と研修」を、高校部門では「基礎と基本を大切にし、一人ひとりの多様な個性や能力・才能を尊重し、その価値を認めて最大限に伸ばす教育」を、幼稚園・保育園では「一人ひとりの良さをさらに伸ばしつつ、たのしく、やさしく、たくましく、調和の取れた子どもを育成するための教育」を、それぞれ力点において教育活動を続けております。

本学園は、これらの専門知識の教育と豊かな人間形成を通じて、必ずや地域の生活文化に寄与する人材の育成に貢献できるものと自負しております。

建学の精神

本学園の建学の精神は、学園創設時における創立者の教育精神、すなわち、実学教育による地域の生活文化の向上であります。この教育精神に基づいて、わが国教育の振興改善と人材育成に寄与するため、大学・短大の創設においては「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健全な人間の育成を目指す」を建学の精神に掲げ、高校の創設においては「実学を重んじ、個性の伸長と清く正しく礼節を大切にした人格円満な人間を育成し、もって地域社会の発展に貢献する」を建学の精神に掲げ、共に学園創設時の創立者の教育精神をゆるぎなく堅持して今日に及んでおります。また、創立者の教えの言葉「励み 謹み 慈み」は校訓として学内の石碑に収められ、校歌にも謳われております。

まこと 齋藤實子爵と三島学園

第 30 代 内閣総理大臣（1932 年 5 月～1934 年 7 月）を務めた齋藤實子爵は、岩手県水沢町（現奥州市水沢区）の出身で、三島よし先生とは又従兄弟に当たる親戚関係にあったため、三島両先生が仙台に東北法律学校、東北女子職業学校を創設した当初から、両先生への支援を惜しまず、物心両面で両先生を激励し続け、大正 13 年から昭和 11 年にわたり学園の設立者にも就任くださって学園の発展に多大の貢献をされました。三島両先生はこの恩義に報いるため、昭和 11 年 2・26 事件により子爵が亡くなられた後、子爵と学園との深い絆が学園に学ぶ全ての人々に永久に記憶されることを願って、子爵の胸像を建てられました。

学園内に設置されている
創立者三島駒治・よし両先生と
学園の恩人齋藤實子爵の胸像



三島学園の沿革

- 明治33年10月 6日：三島駒治先生、宮城県知事から東北法律学校設置認可〔(夜間)、修業年限：本科（3年）別科（1年）〕を受ける。
- 明治33年10月28日：東北法律学校、仙台市東三番丁143番地に開校する。
- 明治36年10月10日：東北女子職業学校設置〔本科（修業年限2年）・別科（修業年限2年）・高等研究科（修業年限6ヶ月）〕認可される。
- 明治36年10月27日：教育勅語を奉戴し、創立記念日と定める。
- 明治38年 4月：東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。
- 明治43年 4月：東北女子職業学校に速成科（修業年限1年）を設置（4つめの科）する。
- 大正 2年 9月：仙台市清水小路3番地への移転を完了する。
- 大正11年 3月31日：東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとして東北法律学校を廃止する。
- 大正13年 3月10日：東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。
- 大正13年 5月13日：東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。
- 大正13年 7月16日：設立者を、三島よし及び齋藤實・子爵とする名義変更が文部大臣から認可される。
- 大正15年 3月 9日：東北女子職業学校に高等師範科（修業年限3年）の設置認可を受ける。
- 昭和 5年 4月21日：東北女子職業学校に商業本科（修業年限2年）、商業専修科（修業年限1年）、師範研究科（修業年限1年）及び高等師範研究科（修業年限1年）設置認可を受ける。
- 昭和 6年 1月23日：東北女子職業学校師範研究科を師範専修科に、高等師範研究科を高等師範専修科に改称する。
- 昭和 6年10月28日：東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部（和裁専攻）及び専攻科第二部（洋裁専攻）への改組が認可される。
- 昭和 9年 3月 1日：東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限4年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。
- 昭和13年 9月16日：設立者を、三島駒治及び三島よしとする名義変更が文部大臣から認可される。
- 昭和14年 3月31日：東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部（尋常小学校就業者の受け入れ、修業年限4年）及び第二部（高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限2年）への改組を認可される。
- 昭和15年 3月25日：文部大臣から財団法人三島学園設立の認可を受ける。理事長：三島駒治
- 昭和19年 4月15日：中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部（旧高等師範科）、専攻科第二部（旧専攻科）を設置する認可を受ける。
- 昭和20年 4月：東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8月の終戦により廃止する。
- 昭和22年 3月31日：三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。
（専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。）
- 昭和23年 3月31日：学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。
- 昭和23年 4月 1日：三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限1年）を設置する。
- 昭和24年 4月 1日：三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限1年）を設置する。
別科・専修科（修業年限2年）を設置する。
- 昭和25年 1月19日：三島学園女子高等学校美容科が厚生大臣から美容師養成機関の認可を受ける。
- 昭和26年 2月22日：財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組する。理事長：佐藤 允
- 昭和26年 2月27日：三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。6月3日、開学式を挙げる。
- 昭和26年 3月31日：三島学園女子専門学校を廃止する。
- 昭和27年 3月27日：三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。
- 昭和27年 4月 1日：三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。
- 昭和29年 4月 1日：三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）及び別科被服専修第二部（夜間1年制）を設置する。
- 昭和30年 3月31日：三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を設置する。
- 昭和30年 4月30日：三島学園女子短期大学附属眞澄（ますみ）幼稚園（仙台市向山大窪谷地102）設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。
- 昭和33年 1月10日：三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。
- 昭和33年 3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。
- 昭和37年 4月 1日：三島学園女子短期大学に体育科を開設する。
- 昭和38年 3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間1年制）を廃止する。
- 昭和40年 4月 1日：三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。
- 昭和43年 4月 1日：三島学園女子高等学校に商業科を開設する。
- 昭和44年 3月 3日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。
- 昭和45年 3月31日：三島学園女子中学校を廃止する。
- 昭和47年 3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。
- 昭和49年 4月 1日：三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。
- 昭和49年12月 2日：三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生14番地（現校地）に全面移転を完了する。
- 昭和51年 3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。
- 昭和55年 4月 1日：学園の所在地の表示、泉市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 昭和56年 4月 1日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。
- 昭和57年 9月30日：三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。
- 昭和59年 9月：三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）を廃止する。
- 昭和62年 4月 1日：三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。
- 昭和62年 4月 1日：三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。
- 昭和63年 4月 1日：仙台市と泉市の合併により、所在地の表示を仙台市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 平成 元年 4月 1日：仙台市の政令指定都市移行に伴い、所在地の表示を仙台市泉区虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 平成 2年10月 6日：三島学園創立90周年記念式典を挙げる。

平成 4 年	9 月 2 2 日	三島学園女子高等学校美容科（別科）、平成 5 年度生徒募集停止を届け出る。
平成 5 年	3 月 3 1 日	三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。
平成 7 年	9 月 2 3 日	虹の丘ますみ幼稚園、園児募集を停止する。
平成 9 年	4 月 1 日	虹の丘ますみ幼稚園、休園とする。
平成 1 0 年	3 月 3 1 日	虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。
平成 1 0 年	4 月 1 日	三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。
平成 1 2 年 1	0 月 2 7 日	創立百周年記念式典を挙げる。
平成 1 3 年	1 月 1 7 日	「一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与」により河北文化賞を受賞する。
平成 1 3 年	2 月 2 7 日	三島学園女子高等学校が文部科学省及び総務省から「次世代 I T を活用した未来型教育研究開発事業」の指定校に登録される。
平成 1 3 年	4 月 1 日	三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。
平成 1 3 年	4 月 1 日	仙台圏大学圏の単位互換制度が発足する。
平成 1 3 年	4 月 1 日	三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。
平成 1 4 年	4 月 1 日	三島学園女子高等学校普通科に「保育コース」を設置する。
平成 1 5 年	4 月 1 日	三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。 東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の 2 コースに編成する。
平成 1 5 年	4 月 1 日	東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。 健康栄養学専攻は、厚生労働大臣から栄養士及び管理栄養士の養成施設として認可される。
平成 1 6 年	4 月 1 日	三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。
平成 1 6 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高等学校商業科が文部科学省から「教育改革推進モデル事業」の指定校に登録される。
平成 1 6 年	4 月 1 日	ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。
平成 1 7 年	4 月 1 日	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。厚生省労働大臣から保育士養成施設として認可される。
平成 1 8 年	4 月 1 日	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻が幼稚園二種免許の課程として認可される。 子育て・家庭センターを開設する。
平成 1 9 年	4 月 1 日	東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称する。
平成 2 0 年	3 月 1 9 日	東北生活文化大学が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成 2 0 年	8 月 2 日	東北生活文化大学 5 0 周年記念式典及び祝賀会を挙げる。
平成 2 2 年	3 月 1 7 日	三島学園産学連携協議会が発足する。
平成 2 2 年	3 月 1 8 日	東北生活文化大学短期大学部が、「財団法人短期大学基準協会が定める第三者評価基準を満たしている。」と認定される。
平成 2 3 年	3 月 1 1 日	東日本大震災の発災により建物設備が甚大な被害を受ける。
平成 2 3 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。 東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。 東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテインメントコースを設置する。
平成 2 5 年	4 月 1 日	東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。 同専攻は厚生労働大臣から栄養士養成施設の認可を受ける。
平成 2 5 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。 東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」を「進学コース」、「特別進学コース」に改称する。 東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。
平成 2 5 年	4 月 1 日	ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。
平成 2 6 年	3 月 1 1 日	東北生活文化大学が、「日本高等教育機構が定める大学評価基準に適合している」と認定される。
平成 2 6 年	3 月 3 1 日	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。
平成 2 7 年	4 月 1 日	東北生活文化大学家政学部家政学科服飾文化専攻の入学定員を、3 0 名から 2 8 名に変更して、健康栄養学専攻 3 年次編入学定員 2 名とした。
平成 2 8 年	3 月 1 0 日	東北生活文化大学短期大学部が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成 2 9 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。
平成 3 0 年	7 月 2 0 日	東北生活文化大学美術学部美術表現学科設置計画が受理される。
平成 3 0 年 1	0 月 1 7 日	東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と仙台市教育委員会との間で連携協力に関する協定書を締結する。
平成 3 0 年 1	2 月 1 9 日	上越教育大学と東北生活文化大学における上越大学大学院学校教育研究科への学生受け入れ及び学生支援に関する覚書を取り交わす。
平成 3 1 年	1 月 1 6 日	東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と宮城県教育委員会との間で包括連携協力に関する協定書を締結する。
平成 3 1 年	4 月 1 日	東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。
令和 元年	9 月 2 0 日	東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部が、文部科学省から大学等における就学の支援に関する法律第 7 条第 2 項に掲げる要件を満たしている旨の確認を受ける。
令和 3 年	3 月 3 1 日	東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価で適合認定を受けられず。
令和 4 年	3 月 1 0 日	三島学園と株式会社東日本放送跡地との間に存在する緑地帯を購入する。
令和 4 年	3 月 3 1 日	株式会社東日本放送の跡地及び社屋を購入する。
令和 4 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コース（定員 3 0 名）を設置する。
令和 4 年 1	2 月 2 6 日	株式会社東日本放送旧社屋を大学 7 号館と命名し、東北生活文化大学美術学部の授業を開始する。
令和 5 年	3 月 1 0 日	東北生活文化大学短期大学部は、一般財団法人大学・短期大学基準協会による機関別認証評価で「協会が定める短期大学評価基準を満たしている。」との適格の認定を受ける。
令和 5 年	3 月 1 4 日	東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価で「機構が定める大学評価基準に適合している。」との適合認定を受ける。
令和 5 年	3 月 3 1 日	東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。
令和 5 年	4 月 1 日	東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園は、仙台市からの確認を得て、施設型給付費の支給に係る施設となる。
令和 7 年	4 月 1 日	東北生活文化大学高校通信制課程（普通科、募集人員 1 0 0 名）を設置する。

三島学園管理運営組織図 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

実線 = 指揮命令系統
点線 = 事務管理系統



三島学園役員・主な役職者（令和7年8月2日現在）

理事長

大庭 清

理事（大学・短大・幼稚園・保育園担当）

佐藤一郎

理事（高校担当）

佐々木武弘

理事（財務担当）

長井孝行

理事（広報・ダイバーシティ担当）

近江恵美子（学外者）

理事（地域連携・歴史資料管理担当）

有川幾夫（学外者）

理事（経営基盤強化担当）

曾根敬司（学外者）

理事（教育改革担当）

駒井三千夫（学外者）

監事

光井 正

監事

真田昌行

評議員／鈴木裕行

評議員／三上秀夫

評議員／松尾 広

評議員／水沼武晴

評議員／油井康浩

評議員／稲邊真由美

評議員／井上美紀

評議員／千葉めぐみ

評議員／三浦真由美

評議員／藤川幸子

評議員／佐々木崇哉

評議員／赤坂正弘

評議員／小川克也

評議員／北折 整

評議員／庄子明宏

評議員／宮澤利彰

【法人事務局】

事務局長／長井孝行

総務部長／信坂 健

総務課長／信坂 健

法人課長／長井孝行

広報課長／長井孝行

財務部長／後藤 固

財政課長／後藤 固

会計課長／後藤 固

施設管財課長／後藤 固

【大学】

学長／佐藤一郎

副学長／鈴木裕行

家政学部長／栗山孝雄

家政学科長／栗山孝雄

服飾文化専攻主任／川又勝子

健康栄養学専攻主任／伊藤常久

美術学部長／三上秀夫

美術表現学科長／鈴木 専

【短期大学部】

学長／佐藤一郎

生活文化学科長／松尾 広

食物栄養学専攻主任／益田裕司

子ども生活専攻主任／大瀬戸美紀

【大学・短大の共通組織】

総務室長／益田裕司

将来構想室長／鈴木裕行

評価室長／佐藤靖子

学務室長／鈴木裕行

教職課程センター長／永田和寛

学芸員課程センター長／落合里麻

公的資格取得支援センター長／栗山孝雄

広報入試室長／伊藤常久

学生支援室長／鈴木 専

保健センター長／中尾真理

図書館長／鶴巻史子

学生相談所長／永沼孝子

アドミッションセンター長／栗山孝雄

学習支援センター長／鈴木裕行

I R 室長／鈴木裕行

【大学・短大の事務部】

事務部長／白崎隆典

企画課長／白崎隆典

教務課長／熊谷武志

教職・学芸課長／松田知子

入試課長／大石正芳

学募広報課長／大石正芳

学生課長／三浦義雄

アドミッションオフィサー／千葉卓也

【高等学校（通信制課程）】

高等学校長／佐々木武弘

副校長／水沼武晴

教頭／油井康浩

教頭／吉本世一

現職教育指導主事／須藤由子

現職教育指導主事／今野 隆

入試広報指導主事／須藤由子

入試広報指導主事／今野 隆

普通科長／梅津 隆

商業科長／藤澤大輔

美術・デザイン科長／齋藤正和

企画推進部長／倉本郁哉

アドミッションセンター長／阿部博行

経営管理部長／小笠原智美

カリキュラムマネジメントセンター長／小野安史

キャリアセンター長／橋本和明

生徒指導部長／佐藤幸広

図書ICTプロモーションセンター長／吉田潤一

ヘルスサポートセンター長／佐藤みゆき

アセスメントセンター長／渡邊紀子

通信教育部長／上泉洋介

3 学年部会部長／渡邊紀子

2 学年部会部長／志摩有亮

1 学年部会部長／三浦まみ

事務長／畠山浩美

【高等学校（通信制課程）】

高等学校長／佐々木武弘

副校長／水沼武晴

【幼稚園】

幼稚園長／武田早苗

教頭／武田ひろみ

主事／後藤 固

【保育園】

保育園長／稲邊真由美

会計責任者／後藤 固

【情報処理教育センター】

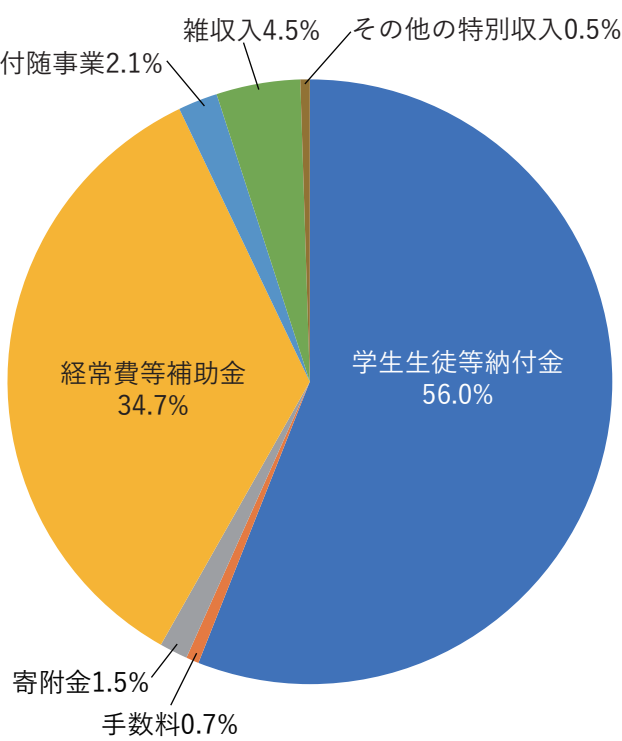
情報処理教育センター長／松尾 広

【子育て・家庭支援センター】

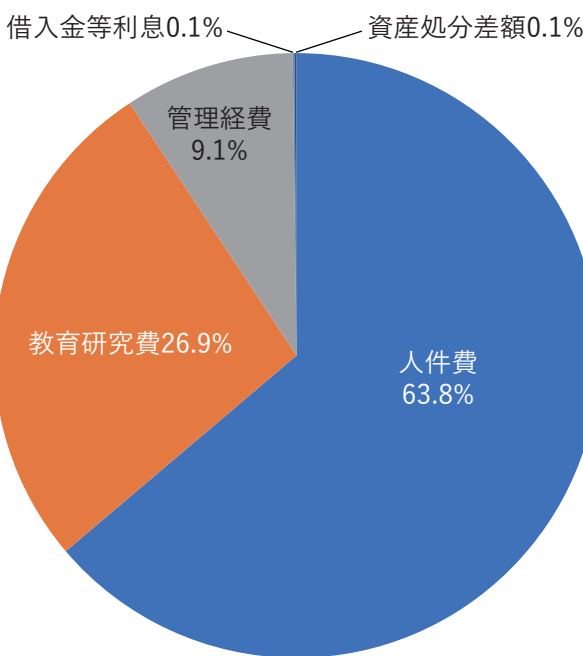
子育て・家庭支援センター長／高橋恵美

令和 6 年度法人収支状況

令和 6 年度収入総額（事業活動収入 22億1,398万円）



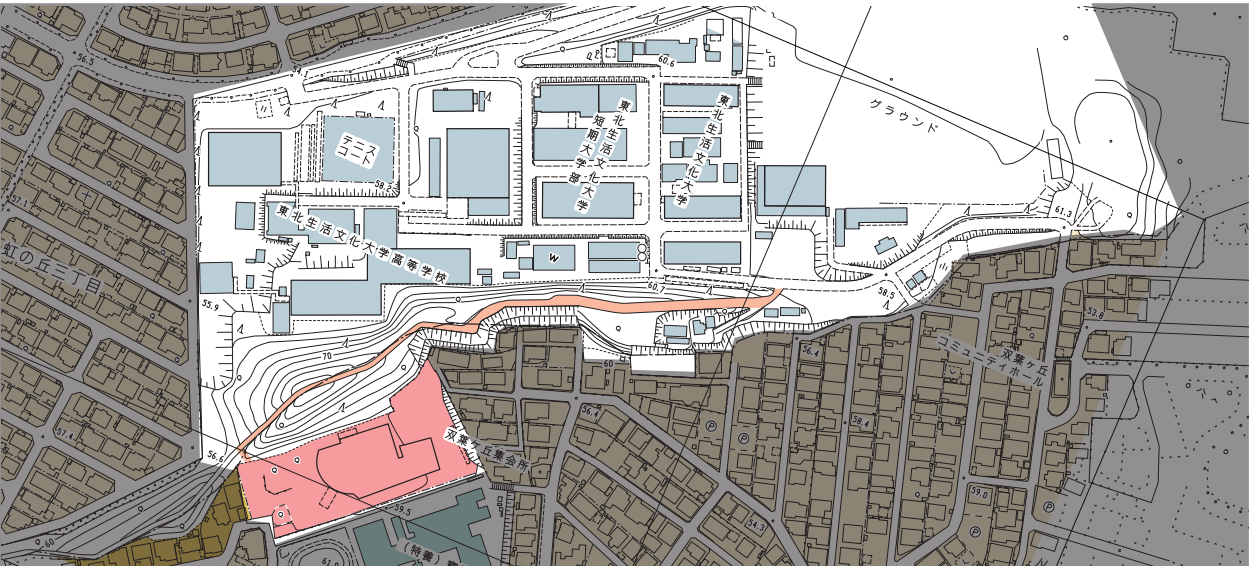
令和 6 年度支出総額（事業活動支出 22億9,201万円）



歴代の理事長

■東北法律学校					
昭和33年10月28日	～	大正11年8月29日	校主	三島	駒治
■東北女子職業学校					
昭和36年11月11日	～	昭和15年3月24日	校主	三島	駒治
昭和36年11月11日	～	昭和18年9月3日	校長	三島	よし
■財団法人三島学園					
昭和15年3月25日	～	昭和17年1月3日	理事長	三島	駒治
昭和17年1月3日	～	昭和25年1月8日	理事長	三島	よし
昭和25年1月8日	～	昭和26年2月21日	理事長	佐藤	允
■学校法人三島学園					
昭和26年2月22日	～	昭和44年3月31日	理事長	佐藤	允
昭和44年4月1日	～	昭和46年3月31日	理事長	佐藤	直
昭和46年4月1日	～	昭和47年6月16日	理事長	佐藤	允
昭和47年6月17日	～	昭和62年3月31日	理事長	佐藤	直
昭和62年4月1日	～	平成9年3月31日	理事長	上田	欣
平成9年4月1日	～	平成13年9月30日	理事長	佐々木	菊見
平成13年10月1日	～	平成20年6月30日	理事長	池上	雄作
平成20年7月1日	～	平成31年4月21日	理事長	浅尾	豊信
平成31年4月22日	～	令和元年5月25日	理事長代行	浅尾	豊信
令和元年5月25日	～	現在	理事長	大庭	清

キャンパス・建物



■仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2	
土地〔虹の丘キャンパス〕	108,868m ²
・百周年記念棟（事務局、記念ホール等）	2,236m ²
・80周年記念棟	
（音楽室、レッスン室、練習室、ブレイルーム、子育て家庭支援センター）	582m ²
・高校運動施設（テニスコート2面、グラウンド）	21,855m ²
・同窓会館	299m ²
・顕彰館	159m ²

【東北生活文化大学】建物小計	11,711m ²
・1号館	1,559m ²
・2号館	1,576m ²
・3号館	1,620m ²
・4号館	334m ²
・5号館	1,006m ²
・実験棟	1,057m ²
・6号館	1,997m ²
・体育館	1,455m ²
・図書館	645m ²
・窯業場	70m ²
・造形演習工房	170m ²
・壁画工房	65m ²
・クラブハウス	157m ²

【東北生活文化大学短期大学部】建物小計	4,661m ²
・短大棟	3,157m ²
・短大・高校第2新体育館	1,504m ²

【東北生活文化大学高等学校】建物小計	14,194m ²
・校舎A棟（普通教室、職員室、図書室、実験室、コンピュータ室）	4,464m ²
・校舎B棟（普通教室、特別教室）	3,041m ²
・校舎C棟（普通教室、食堂等）	1,062m ²
・多目的デザインホール	586m ²
・体育館	2,279m ²
・クラブハウス、工芸・陶芸教室	1,128m ²
・デッサン棟、生活教育特別実習室、アトリエ室他	1,634m ²

■仙台市青葉区双葉ヶ丘	
土地〔双葉ヶ丘キャンパス〕	10,618m ²
【大学7号館】	5,886m ²

■仙台市太白区向山四丁目26番地の34	
土地〔向山キャンパス〕	5,145m ²
【短期大学部附属ますみ幼稚園】	534m ²
【短期大学部附属ますみ保育園】	409m ²
【共通の園庭】	1,016m ²

敷地内に駐車場を設け、事前に申し込むことにより、保育園に子どもを預け、車を置いて最寄りのバス停、地下鉄を利用して職場へ行くことができる所謂「パーク＆ライドサービス」を行っており、有効に活用されている。

三島学園の変遷

明治33年10月 6日 東北法律学校設置認可「（夜間）、修業年限：本科（3年）別科（1年）」

明治33年10月28日

東北法律学校開校

明治36年10月10日 東北女子職業学校設置認可「本科（修業年限2年）・別科（修業年限2年）・高等研究科（修業年限6ヶ月）」

東北女子職業学校		
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限6ヶ月)

明治38年 4月 東北女子職業学校高等研究科を高等研究本科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。

東北女子職業学校		
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限1年)
		本科
		別科
		家政科、家庭商業科、 裁縫師範科、裁縫専攻科の4コース

明治43年 4月 東北女子職業学校にを設置（4つ目の科）する。

東北女子職業学校		
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科 (修業年限1年) 本科・別科
		速成科 (修業年限1年)

大正11年 3月31日 東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとしてする。

東北法律学校廃止

大正13年 3月10日 東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。

東北女子職業学校速成科を選科に改称する。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	高等研究科廃止	
		高等研究科 →師範科	高等研究科 →専攻科
			速成科 (修業年限1年) →選科

大正13年 5月13日 東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。

大正15年 3月 9日 東北女子職業学校に高等師範科（修業年限3年）の設置認可を受ける。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	高等師範科 (修業年限3年)
		専攻科	選科

昭和 5年 4月21日 東北女子職業学校に商業本科（修業年限2年）、商業専修科（修業年限1年）、師範研究科（修業年限1年）及び高等師範研究科（修業年限1年）設置認可を受ける。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科	高等師範科 (修業年限3年)
				選科
				師範研究科 (修業年限1年)
				商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範研究科 (修業年限1年)

昭和 6年 1月23日 東北女子職業学校師範研究科を高等師範専修科に改称する。

東北女子職業学校						
本科 (修業年限 2 年)	別科 (修業年限 2 年)	師範科	専攻科	選科	商業科	
					師範研究科 →師範専修科	高等師範科 (修業年限 3 年)
					商業本科 (修業年限 2 年)	商業専修科 (修業年限 1 年)
					高等師範研究科 →高等師範専修科	

昭和 6年 10月28日 東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部 (和裁専攻) への改組が認可される。

東北女子職業学校										
本科 (修業年限 2 年)	別科 (修業年限 2 年)	師範科	専攻科		選科	高等師範科 (修業年限 3 年)	師範専修科	商業科		高等師範専修科
			→ 専攻科第一部 (和裁専攻)	→ 専攻科第二部 (洋裁専攻)				商業本科 (修業年限 2 年)	商業専修科 (修業年限 1 年)	

昭和 9年 3月 1日 東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限 4 年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。

東北女子職業学校						
本科 (修業年限 4 年 に改正)	別科 …廃止	師範科	専攻科		選科 一裁縫専修科	高等師範科 (修業年限 3 年) →高等師範専修科
			専攻科第一部 (和裁専攻)、 専攻科第 2 部 (洋裁専攻) →専攻科			
						師範研究科 (修業年限 1 年)
						商業本科 (修業年限 2 年)
						商業専修科 (修業年限 1 年)
						商業科
						高等師範専修科

昭和 14年 3月 31日 東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部 (専修小学校就業者の受け入れ、修業年限 4 年) 及び第二部 (高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限 2 年) への改組を認可される。

東北女子職業学校						
本科		師範科	専攻科	裁縫専修科	高等師範専修科	師範専修科
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)					
		商業科			高等師範科	洋裁科
		商業本科 (修業年限 2 年)	商業専修科 (修業年限 1 年)			

昭和 15年 3月 25日 財団法人三島学園設立認可

昭和 19年 4月 15日 中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部 (旧高等師範科)、専攻科第二部 (旧専攻科) を設置する認可を受ける。

東北女子職業学校→東北女子実業学校										
本科		師範科 …廃止	専攻科 一専攻科第二部	裁縫専修科 …廃止	高等師範専修科 一専攻科第一部	師範専修科 …廃止	商業科			洋裁科 …廃止
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)						商業本科 (修業年限 2 年) …廃止	商業専修科 (修業年限 1 年) …廃止	高等師範科 …廃止	

東北女子実業学校		
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)	専攻科第二

昭和 20年 4月 東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8 月の終戦により廃止する。

昭和 22年 3月 31日 三島学園女子専門学校 (被服科、修業年限三カ年) の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。

(専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。)

三島学園女子中学校

東北女子実業学校→三島学園女子中学校		
本科第一部 (修業年限 4 年)	本科第二部 (修業年限 2 年)	専攻科第一 →三島学園女子専門学校へ →専攻科

三島学園女子専門学校 (被服科、修業年限三カ年)

三島学園女子専門学校
専攻科第一 →被服科 (修業年限 3 年)

昭和23年 3月31日 学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。

東北女子実業学校			
本科第一部 …廃止	本科第二部 …廃止		専攻科 …廃止

三島学園女子高等学校
普通科

昭和23年 4月 1日 三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限1年）を設置する。

三島学園女子高等学校
普通科
専攻科洋裁科 (修業年限1年)

昭和24年 4月 1日 三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限1年）を設置する。

別科・専修科（修業年限2年）を設置する。

夜間洋裁科（普通科（修業年限6ヶ月）及び研究科（修業年限6ヶ月））を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科	専攻科洋裁科 (修業年限1年)	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年)

夜間洋裁科	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)
-------	----------------------	----------------------

昭和26年 2月22日 財団法人三島学園
→学校法人三島学園

昭和26年 2月27日 三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。6月3日、開学式を挙げる。

三島学園女子短期大学
校服科

昭和26年 3月31日 三島学園女子専門学校を廃止する。

三島学園女子専門学校 …廃止

昭和27年 3月27日 三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。

三島学園女子短期大学	
三島学園女子 短期大学 校服科	専攻科洋裁科 (修業年限1年) →別科洋裁科 (修業年限1年)

三島学園女子高等学校			
普通科	専攻科洋裁科 →短大別科洋裁科 (修業年限1年)	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年)

昭和27年 4月 1日 三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年)	夜間の定時制高校 (修業年限4年)

昭和28年10月 1日 夜間和裁科（普通科（修業年限6ヶ月）及び研究科（修業年限6ヶ月））を設置する。

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)

昭和29年 4月 1日 三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）及び別科被服専修第二部（夜間1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
被服科 →家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)

昭和30年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
家政専攻科 (1年制)			

昭和30年 4月30日 三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園（山台市向山大窪谷地102）設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園

昭和31年 4月 1日 三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園の名称をますみ幼稚園に改称する。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園
→三島学園女子短期大学附属
ますみ幼稚園

昭和33年 1月10日 三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。

三島学園女子大学
家政学部家政学科

昭和33年 3月31日 三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年) …廃止	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
家政専攻科 (1年制)			

昭和36年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)		別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
家政専攻科 (1年制) …廃止			

昭和37年 4月 1日 三島学園女子短期大学に体育科を開設する。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
体育科		

昭和38年 3月 1日 三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制) …廃止
体育科		

夜間洋裁科		夜間和裁科	
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止

昭和39年 3月31日

夜間洋裁科	夜間和裁科
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止

昭和40年 4月 1日 三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。

三島学園女子大学		
家政学部		
家政学科	生活理学科	生活美術学科

昭和43年 4月 1日 三島学園女子高等学校に商業科を設置する。

三島学園女子高等学校				
普通科		美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年) …廃止	夜間の定時制高校 (修業年限4年)
				商業科 (3年制)

昭和44年 3月 3日 三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園
------------------------	---------------------------

昭和45年 3月31日 三島学園女子中学校を廃止する。

三島学園女子中学校…廃止

昭和46年 3月31日 三島学園女子高等学校夜間の定時制高校（修業年限4年）を廃止する。

三島学園女子高等学校				
普通科		美容科 (別科、 修業年限1年)		夜間の定時制高校 …廃止
				商業科 (3年制)

昭和47年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。

昭和49年 4月 1日 三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	体育科 …廃止

昭和49年12月 2日 三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生14番地（現校地）に全面移転を完了する。

昭和51年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。

三島学園女子大学家政学部		
家政学科	生活理学科 …廃止	生活美術学科

昭和56年 4月 1日 三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を「三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園」と改称する認可がされる。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園 →三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園
------------------------	---

昭和57年

9月30日

三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。

昭和59年

9月

三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学	
家政科	家政科第二部 (夜間2年制) …廃止

昭和62年

4月1日

三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。

三島学園女子大学 →東北生活文化大学	
家政学科	生活美術学科

昭和62年

4月1日

三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園
-----------------------------------	---

平成5年

3月31日

三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。

三島学園女子高等学校			
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年) …廃止		商業科 (3年制)

平成10年

3月31日

虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。

ますみ幼稚園		虹の丘ますみ幼稚園…廃止
--------	--	--------------

平成10年

4月1日

三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科			商業科 (3年制)
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	

平成13年

4月1日

三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。

三島学園女子短期大学	
家政科	→生活文化学科

平成13年

4月1日

三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科			商業科 (3年制)
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース

平成14年

4月1日

三島学園女子高等学校に「保育コース」を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科			商業科 (3年制)
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース
			保育コース

平成15年

4月

1日

三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。

東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の2コースに編成する。

三島学園女子高等学校 →東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	保育コース	情報ビジネスコース 経営デザイン

平成15年

4月

1日

東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。

東北生活文化大学 家政学部		
家政学科	生活美術学科	
家政学専攻	健康栄養学専攻	

平成16年

4月

1日

三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。

三島学園女子短期大学 →東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	

平成16年

4月

1日

ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。

平成17年

4月

1日

東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻	子ども生活専攻

平成19年

4月

1日

東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学 家政学部		
家政学科	生活美術学科	
家政学専攻 →服飾文化専攻	健康栄養学専攻	

平成23年

4月

1日

東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」及び「啓進コース」に改編する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース	総合教養コース	進学コース →総進コース	美術コース	保育コース	情報ビジネス コース 経営デザイン

平成23年

4月

1日

東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートのインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。

東北生活文化大学 家政学部		
家政学科	生活美術学科	
服飾文化専攻	健康栄養学専攻	アートな職人コース アートのインストラクターコース アーティストコース デザイナーコース

ますみ保育園

平成23年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテイメントコースを設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 フードエンタテイメントコース	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 →食物栄養学専攻	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。

東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」、「特別進学コース」に改称する。
東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンコース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース	総合教養コース	総進コース →進学コース	啓進コース →特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース
					経営デザイン →進学ライセン コース
					美術・デザイン科

平成25年 4月 1日 ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。

ますみ幼稚園 →東北生活文化大学短期大学部附属 ますみ幼稚園

ますみ保育園 →東北生活文化大学短期大学部附属 ますみ保育園

平成26年 3月31日 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。

平成29年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース →未来創造コース	総合教養コース	進学コース	特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース
					進学ライセン コース
					美術・デザイン科

平成31年 4月 1日 東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	美術学部
家政学科	美術表現学科
服飾文化専攻 服飾ビジネスコース 服飾生活コース	健康栄養学専攻 美術・工芸コース デザイン・メディア芸術コース

令和 4年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コースを設置する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
未来創造コース	看護医療コース	進学コース	特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース
					進学ライセン コース
					美術・デザイン科

令和 5年 3月31日 東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
未来創造コース	看護医療コース	進学コース		保育コース	情報ビジネスコース
					進学ライセン コース
					美術・デザイン科

令和 7 年 4 月 1 日 東北生活文化大学高校通信制課程普通科を設置する。

東北生活文化大学高等学校（全日制課程）							(通信制課程)
普通科				商業科			
未来創造 コース	看護医療 コース	進学コース	保育コース	情報ビジネス コース	進学ライセンス コース	美術・デザイン科	普通科



東北生活文化大学

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY

「暮らしワクワク設計チーム」として服飾・栄養・美術の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設 立】昭和 33（1958）年 1 月 10 日 【学 長】佐藤一郎 【副学長】鈴木裕行 【定 員】家政学部 家政学科 58 名（服飾文化専攻 18 名・健康栄養学専攻 40 名）／美術学部 美術表現学科 50 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、学術の中心として、幅広い教養を授けるとともに、深く生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を展開させ、社会に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とし、使命としている。

東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA
JUNIOR COLLEGE

「暮らしワクワク設計チーム」として栄養学・幼児教育・保育の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設 立】昭和 26（1951）年 2 月 27 日 【学 長】佐藤一郎 【定 員】食物栄養学専攻 40 名／子ども生活専攻 60 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、実学教育によって職業又は实际生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命としている。

東北生活文化大学高等学校

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY
SENIOR HIGH SCHOOL

すべての生徒と先生との Friendship（きずな）

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 【TEL】022-272-7530 【FAX】022-272-7523

【設 立】昭和 23（1948）年 3 月 31 日 【校 長】佐々木武弘 【副校長】水沼武晴 【教 頭】油井康浩、吉本世一

【定 員】390 名

【教育目標】「知性、感情、意思、能力、趣味が偏らない調和のとれた人」、「自愛からひろく他愛に及ぶ愛情豊かな人」、「空理空論に走らず小さな善でも勇敢に実行する実践力に富んだ人」の育成

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ幼稚園

MASUMI KINDERGARTEN

三島学園の校訓を踏まえ、命最優先の教育、一人一人に目をかけ声をかけ誠心誠意を注ぐ教育、そして子どもから目をそらさず見限らない教育を基本理念にかかげる 調和、感性、実践力に富む子どもの育成を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 【TEL・FAX】022-225-5020

【設 立】昭和 30（1955）年 5 月 28 日 【園 長】武田早苗 【定 員】105 名

【教育目標】たのしく やさしく たくましく

○喜んで活動する子 ○あいさつのできる子 ○思いやりの深い子 ○明るく元気な子

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ保育園

MASUMI NURSERY SCHOOL

子どもの最善の利益を第一義に考え、一人一人を大切にし、保護者から信頼される保育園を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 【TEL】022-227-7080 【FAX】022-227-7085

【設 立】平成 16（2004）年 4 月 1 日 【園 長】稲邊真由美 【定 員】60 名

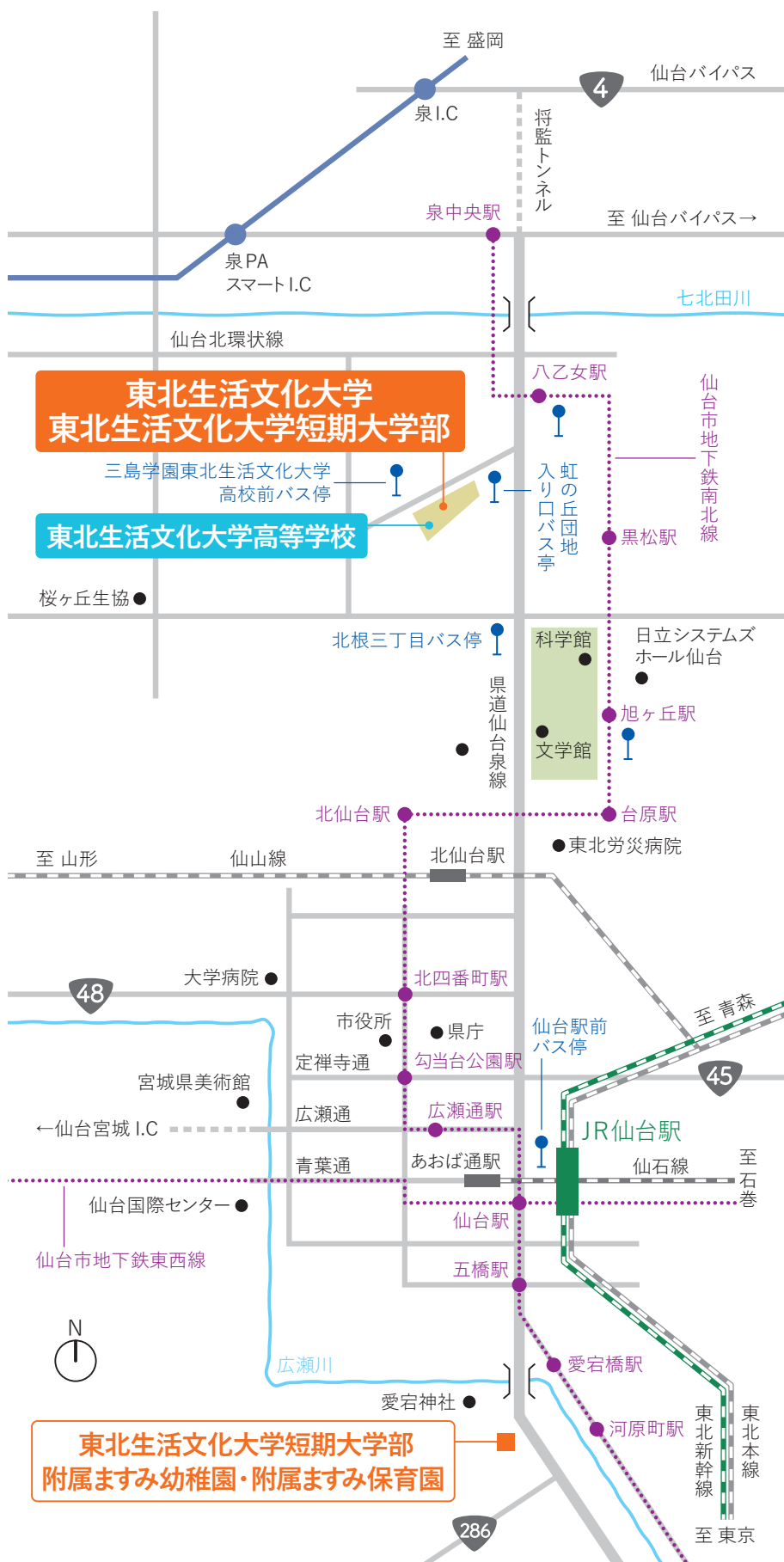
【保育方針】よく遊び、意欲的に生活できる子どもの育成と、保護者と共に育て合う保育を行う

○じょうぶな子ども ○友達と力を合わせる子ども ○思いやりのある子ども

○自分で考えて行動する子ども ○感性豊かな子ども

アクセス

■仙台駅方面からのアクセス





〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2
TEL 022-272-7511(代)
FAX 022-272-7516
URL <http://www.mishima.ac.jp>
E-mail hojin@mishima.ac.jp